

# 弥生地区防災計画

## 1 基本方針及び活動目標

- ・ 地震、洪水、大火災、その他の大災害に際しては、市や消防等の防災機関の活動と相まって、地域住民が自主的に防災活動を行うことが肝要である。  
災害が発生した直後にも、また、避難所生活が長引く場合にも、市・防災機関等が十分に対応できない可能性もあり、地域住民が助け合って、様々な困難を乗り越えなければならない。
- ・ 当地域では「自分たちの地域は自分たちで守る」という連帯感に基づき、地域住民を主体とした自主防災組織を構築して災害発生に備え、あらかじめ自分たちの地域を守るために必要な対策をたて、とるべき活動を具体化した防災計画を作成する。
- ・ また、自主防災組織が、「自助」「近助」「共助」のできる多様な地域コミュニティ活動の核となるよう、地域の自主的な防災活動力を高めていく。

## 2 対象地域

弥生地区防災計画は、弥生地区および近接する区域を対象地域として定める。

## 3 地域の特性と想定災害等

### (1) 地域の特性

- ・ 当地域は、金沢市の南西部に位置し、西に海、東に丘陵地を望む平野地で、その平野地を大きな川や用水路がいくつか流れている。また、当地域間近には森本・富樫活断層帯も存在する地域である。
- ・ 高層ビルはないが、戸建て住宅が多く、アパートやマンションの多い地域もある。また、近年の戸建て地域は隣家との間に空間が確保されているが、古くからの地域は隣家と接するように密集しており、高齢化率も年々高くなってきている。

### (2) 想定被害

- ・ 想定される災害は、地震、火災、洪水であり、森本・富樫活断層による地震では想定震度6弱以上で、家屋倒壊、液状化や火災が想定される。
- ・ また、犀川、雀谷川、伏見川、各用水路に接する地域においては、洪水による堤防決壊、橋の損傷、浸水も想定される。

### (3) 災害対応の基本

当地域は津波の恐れは薄いと考えられる。災害対策は、災害の様相によって優先順位を決定し対応する。

## ア 地震等の場合

自分と家族を守ることに全力をあげ、自分と家族および近隣の安全が確保された後、自主防災組織役員は参集して役割分担して災害対応にあたる。

## イ 特別警報が発令された場合

特別警報は50年に一度レベルの災害で「直ちに命を守る行動」が必要であり、日ごろから住民に特別警報等を啓発し行動手順を周知しておく。

## 4 活動内容

### (1) 平時の取組

いざという時に地域の力が発揮できるよう、地域のみんなで協力して防災活動に取り組む。

#### ア 防災知識の普及・啓発

- ・ 地域住民が「自らの身の安全は自らが守る」という自覚を持つとともに、防災に関する正確な知識を持ち、準備することが重要である。
- ・ パンフレット、ポスター、広報誌などによる啓発や地域行事での説明、地域各種団体と連携して研修会の開催など、あらゆる機会をとらえて防災知識の普及や啓発活動を行う。
- ・ 各家庭においても、次のことが大切であることを認識してもらうよう啓蒙する。
  - ①命を守ること、火を出さないこと、倒壊物を出さないこと
  - ②災害に備えた水や食料等生活物資を確保すること

#### イ 地域の安全点検

防災の基本は、自分たちの住む地域を知ることである。地域の危険な場所や防災上問題のある場所などを確認し、改善の働きかけを行う。

(例) 地域内の危険個所の把握(ブロック塀の安全度、建築物の落下)、避難用空地・建物や井戸等の把握・活用

#### ウ 防災資機材の整備

地域(町会を含む)の資機材を整備し、定期的(年1回以上)に点検整備や使用方法の確認を行い、いつでもすぐに活用できるようにしておく。

#### エ 防災訓練

- ・ 防災訓練は、いざというとき、慌てず的確に対応するための欠かせない活動である。自主防災組織は、計画的に訓練を行い、防災活動に必要な知識・技能の習得に努める。
- ・ 地域住民は積極的に防災訓練に参加をするとともに、各家庭における災害時の家族の連絡方法、災害時にとるべき家族の行動について話し合い実行してみる。
- ・ 災害発生時に適切な行動ができるよう、別紙1の役割担当ごとの訓練のほか、総合訓練も実施する。

## オ 協力体制

複合的に発生する災害への対応は、自主防災組織役員のみでは限界がある。日ごろから、地域の防災リーダーとなり得る人、災害時に協力をお願いできる人、医院・事業所等(隣接地域の自主防災組織や医院・事業所等を含む。)と連携を深め、いざという時の協力体制を準備する。

### (2) 災害時の取組

災害時は、家屋等の倒壊・火災・負傷者の発生など、様々な事態が発生する可能性がある。「自助」「近助」「共助」の下、みんなで力を合わせて活動する。

#### ア 情報の収集・伝達

市・防災機関等や報道機関から正確な災害情報を収集し、地域住民に伝達する。また、市・防災機関等と住民との災害情報の中継活動機能が行えるよう地域内の被災状況等を収集・伝達・報告する。

注： 平時に・・・情報収集・伝達・報告する手段・仕組みを確立しておく。

#### イ 避難誘導

地域住民や自主防災組織が、自らの判断によって安全な避難場所へ適切な避難誘導を行う。

注： 平時に・・・市の計画を基に地域の状況・特性を踏まえ、地域として安全と考えられる集合場所、避難場所、そこに至る避難経路を選定しておき、訓練を繰り返すとともに、避難の方法、場所等を住民に周知徹底しておく。

#### ウ 救出救護

建物倒壊や落下物等により負傷者が出て、救出・救護する場合がある。自分自身がケガをしないよう注意しながら、みんなで協力して負傷者や家屋の下敷きになった人の救出・救護を行う。

また、医師の手当が受けられるまでの間、応急手当をし、救護所や医療機関への搬送に努める。

注： 平時に・・・搬送要請や独自の搬送方法について考えておく。

#### エ 給食給水

停電、断水、ガスの供給停止のみならず食料、飲料水、生活用水の不足が予測されることから、地域で必要な物資を把握し、市・防災機関等と連携しながら被災者等の協力により炊き出しなどの給食・給水活動を行う。

注： 平時に・・・いろいろな生活物資や食料、水などを、指定避難所以外の避難所や、車中避難、在宅避難などの各被災者へスムーズに届けるためにはどうすればよいか、どんな準備が必要なのかを考えておく。

## オ 避難所運営

避難所が開設された際は、自主防災組織を中心に、避難者や地域住民、地区支部要員、施設管理者等で互いに協力しあって、「金沢市避難所運営マニュアル」に基づき運営する。

## カ トイレ対策

災害が起きるたびに大きな問題となっている。被災者の心と身体の健康を守るために、素早く適切な対応をとるようにする。

注： 平時に・・・避難所にマンホールトイレを設置したり、仮設トイレ・簡易トイレを備蓄する。また、トイレの使用ルールなどを検討しておく。家庭でのトイレの使用方法、手作りトイレ・簡易トイレなどの普及をはかる。

### (3) 災害時要援護者(避難行動要支援者)等への支援

高齢者や障害者、子どもなど、助けを必要とする人(災害時要援護者・避難行動要支援者)が避難するときは、隣近所助け合って誘導する。

また、困っている人や災害時要援護者(避難行動要支援者)には、「金沢市避難行動要支援者支援対策マニュアル」に基づき、思いやりの心を持って接し、みんなで協力しながら支援を行う。

注1： 平時に・・・目や耳の不自由な人にも、警報や避難情報がきちんと伝えられるか、避難経路等に障害物や危険な場所がないかなど点検し、改善に努める。

注2： 平時に・・・災害時要援護者(避難行動要支援者)の支援体制を整備し、いざというときに円滑に支援ができるよう、日ごろから積極的に災害時要援護者(避難行動要支援者)とのコミュニケーションに努める。

## 5 自主防災組織の体制

### (1) 活動体制

災害対応を可能とするため、役割分担を定めて班編成し、各担当ごとに訓練・準備を進める。

なお、自主防災組織の班編成と役割は、別紙1のとおり。

ただし、災害の様相によって、会長の判断で班編成と役割は変更することができることとする。

注： 地域の各種団体においても、同様に班編成と役割を決め、自主防災組織の班メンバーとして活動してもらうようにする。

### (2) 防災体制

災害が発生した場合、自主防災組織役員は、ひとまず公民館に参集し、別紙4の準備消耗品を携えて、拠点避難所(指定避難所)で、自主防災組織災害対策本部を立ち上げる。

ア 地域の世帯等状況、防災体制及び避難場所、関係機関  
別紙2のとおり。

なお、避難場所等への避難経路は、防災マップのとおり。

イ 災害時協力してもらえる医院・事業所等、他地区町会施設等  
別紙3のとおり。

ウ 資機材、備蓄物資、消耗品等  
別紙4のとおり。

エ 自主防災組織、災害時に協力ができる人の連絡網  
別紙5のとおり。

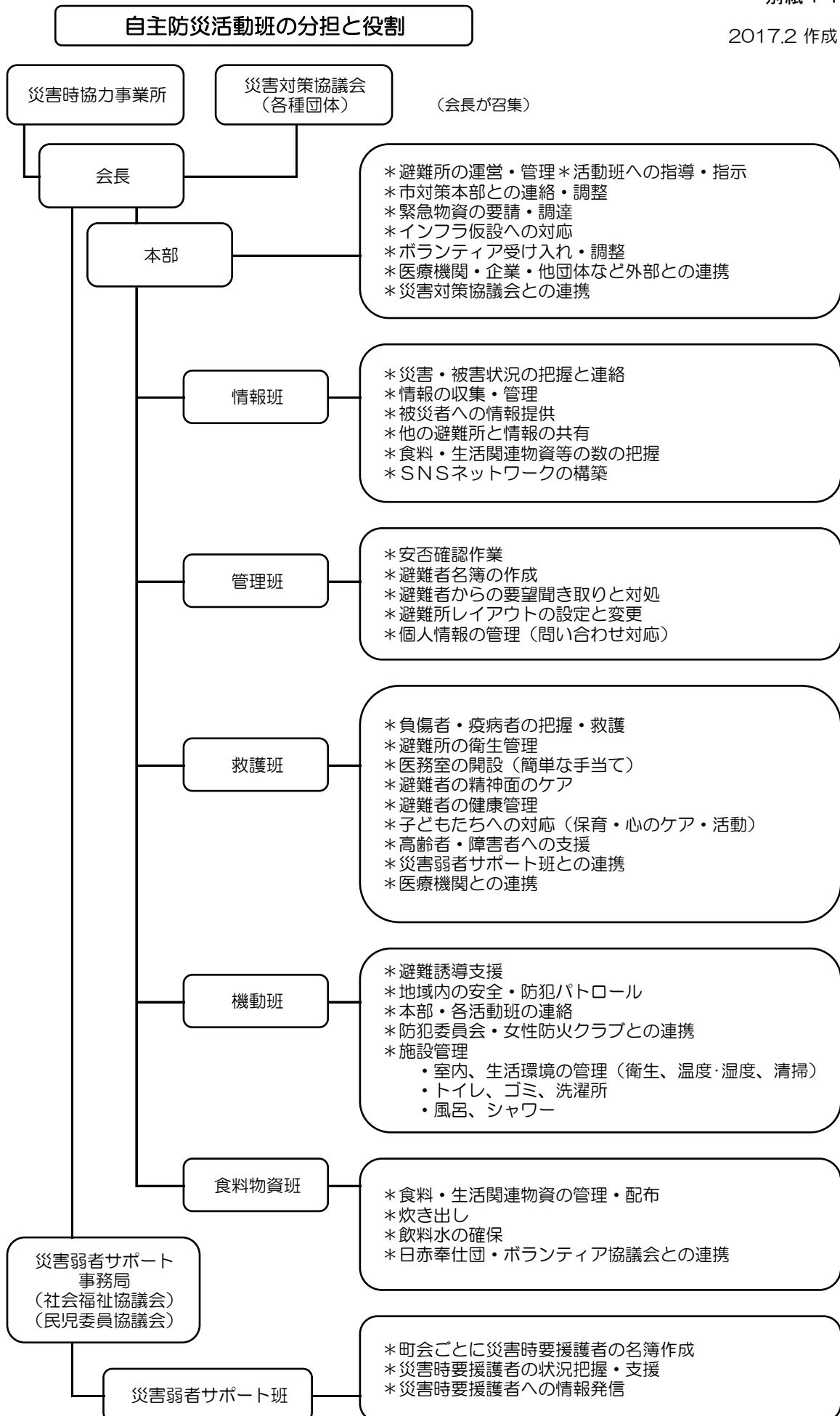
### (3) 体制の確認

ア 別紙1～5については、年1回以上確認を行い、体制の現行化、備品の稼働・保管状況等を点検する。

イ 弥生地区防災計画については、そのつど、活動内容を見直し、必要に応じ計画の手直しを行う。

### 付則

この計画は、平成30年 6月から施行する。



	本部	情報班	管理班	救護班	機動班	食料物資班	
平時		◇SNSネットワークの構築		◇搬送要請・方法について考えておく		◇備品・備蓄品の管理 ◇備蓄品リスト作成 ◇配付方法・手順を考慮しておく	
地震発生! 1時間	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">避難所の開設準備</div>						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">学 校 公民館 児童館</div>
	<p>*運営委員の参集(場所:公民館)と本部の設置      ⑨ 運営委員・…弥生自主防災会リーダー・施設管理者 地区支部要員・町会代表者</p> <p>*公民館にある備品(パソコン・無線機・プロパンガスボンベ・各班のプラケースなど)を持って避難所(泉小体育館)へ</p> <p>*避難者に協力の呼びかけ</p> <p>*体育館・公民館・トイレ・ライフライン・防災備蓄倉庫の確認</p> <p>*避難者受付の設置、避難者カード、集計用ボードの準備</p>						
3時間	◇開設の連絡(市本部へ) ◇活動班への支持	◇パソコン・印刷機	◇受付の設置	◇救助資機材の点検	◇トイレの現状確認	◇防災備蓄庫の・食料・水 生活物資の 現状確認	
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">避難者の受け入れ</div>						
4時間	◇避難者の班分け(町会ごとに) ◇区割り指示 ◇未使用室・トイレの明示 ◇専用スペース確保 高齢者・障害者 更衣室・授乳室 女性用…など ◇避難所ルール ◇情報機関対応 ◇食料・物資の支援を金沢市へ要請 ◇停電対策 ◇弱者サポート班に 応援要請	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">生活基盤の形成</div>		◇医務室の開設(簡単な手当) ◇救出救護活動 ◇負傷者・疫病者の把握 ◇医療機関への搬送 ◇医療機関との連携 ◇弱者サポート班との連携	◇トイレ対策 ・未使用トイレ明示 ・マンホールトイレ設置 ・簡易トイレ設置 ・トイレ使用方法掲示 ◇ゴミ集積場確保 ・ゴミ分別の準備 ・ゴミ分別のルール ◇避難経路の確認 ・輸送経路の確保 ◇防犯・女性防火クラ 交通推進隊との 連携 ◇避難者・避難車両の 誘導・整理	◇飲料水確保と 配布 ◇物資確保・配付 ・毛布・紙オムツ ・ティッシュなど ◇食料の持ちより ◇炊き出しの準備 (炊事設備の確保) ◇支援物資保管 スペースの確保 ・整理方法の確認 ・お弁当類は冷房 のある部屋へ ◇日赤奉仕団・ ボランティア協議会 との連携	
1・2日	◇各種窓口の設置 ・各種の苦情・相談への対応 ◇仮設公衆電話の設置 ◇テレビ・パソコン設置 ◇情報機関に対応 ◇ボランティア受入調整 ・ボランティアニーズの把握 ・ボランティアの要請 ◇町会との連携 ◇自治の形成 ◇会議の開催 ◇災害対策協議会に 応援要請 ◇協力事業所・者に 応援要請 ◇運営状況の管理	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">避難所運営</div>		◇避難者の健康状態の把握 ・ ・ ◇避難者の精神面の ケア ・ ・ ◇高齢者や障害者 へのケア ・トイレ ・食事 ・コミュニケーション ・ ◇子どものケア ・遊び場 ・学習の場 ・保育 ・ ◇健康巡回の要請 (医師・看護師・医療機関) ◇衛生指導の要請 (保健士)	◇避難所内パトロール ◇地区内パトロール ◇避難所内の管理 ・清掃 ・衛生 ◇洗濯設備 ・洗い場 ・干し場 ◇風呂・シャワー ・設置場所確保 ・ルール	◇食料・水・物資の 管理 ◇食料・物資の要請 ◇食料・物資の配布 ◇炊き出しの実施 ◇電池・燃料の確保 ◇情報ツールの充実? ラジオ?	
3日 程度						<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">避難所閉設</div>	
数週間						◇不要物資の返却 ◇備蓄倉庫への 再備蓄	

	弱者サポート班	災害対策協議会	協力事業所・者	町会	学校	地区支部要員
1時間				◇安否確認 ◇救出・救護 ◇被災状況の把握	◇児童生徒の安否確認 ◇避難所の開設準備 ◇避難所の運営	◇避難所の開設準備 ◇避難所の運営 ◇被災状況の把握と被災状況を市へ報告
↓						
3時間				◇避難所の開設準備 ◇避難所の運営		
↓						
1・2日	◇要援護者の状況把握 ◇ // 要望聞き取り ◇ // 支援 ◇ // への情報発信	◇防犯・女性防火クラブ・交通推進隊… ・避難経路の確認 ・輸送経路の確保  ◇日赤奉仕団・ボランティア協議会… ・炊き出しの準備・実施	◇北陸病院など医療機関 ・負傷者・疫病患者などの救護  ◇コンビニ・コメヤなど ・食料・生活物資の支援	◇被害を受け、自宅で生活できない場合は避難所などへ避難する		
↓						
3日程度						
↓						
数週間						